EAW
EASTERN ACOUSTIC WORKS

JF/KF シリーズアクセサリー

取扱説明書

音響特機株式会社

No. 05001-121101

安全のために

この製品を設置、使用される前に必ずお読みください。

お使いになる方や周囲の方々への危害、財産への損害を防ぐため、下記の内容を守ってこの製品を安全にお使いください。本書はいつでもご覧になれる場所に保存してください。

本書で使用する記号について

	「必ず守ってください」という強制を表しています。

	「絶対にしないでください」という禁止を表しています。

⚠警告　この記号は取扱を誤ると死亡や重傷、火災の原因になる可能性がある内容に付いています。

本書をすべて読むこと

この製品を設置、使用する前に必ず本書をすべてよく読み、本書の内容にしたがってください。

適切な場所に取り付けること

スピーカーおよび金具は、重量を支持できる場所に取り付けてください。取り付けた壁面や天井などが重量を支えきれないとスピーカーや金具が落下し、近くにいる方が死亡、負傷する原因になります。スピーカーの設置は専門の技術者にご依頼ください。

設置したスピーカーや金具の定期保守点検を行うこと

安全に使用するため、取付部分が腐食または損傷していないかどうか、定期的に点検してください。

セーフティワイヤーでスピーカーを固定すること

万が一金具が外れた場合でもスピーカーが完全に落下して、近くにいる方が死亡または負傷することがないよう、セーフティワイヤーを使用してください。

本体を落下しないこと

本体の故障はもちろん、周囲の方が負傷する原因になります。

本体を高い場所や頭上に設置する場合は専門の技術者に工事を依頼すること

足場が不安定な高所作業、人の頭上への設置は、死亡や負傷、製品の損傷などの危険が伴います。専門の設備工事業者にご依頼ください。

スピーカーの角度を変える際は取付ネジをゆるめてから行うこと

製品が落下して、近くにいる方が死亡または負傷する原因になる場合があります。スピーカーの角度を決定したら、ゆるめたネジを必ず元通りにしっかり締めておいてください。

スピーカーをしっかり固定すること

スピーカーおよび金具は落下しないよう、しっかり固定してください。スピーカーや金具が落下すると、近くにいる方が死亡または負傷する原因になる場合があります。

Instructions Installation Accessories JFKF Series

警告! : スピーカーの設置工事は、必ず専門の技術者にご依頼ください。本書冒頭の『安全のために』の内容をよく読んでご理解の上、各製品をお使いください。

はじめに:

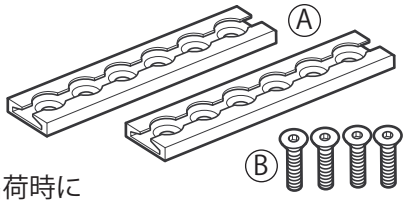
この取扱説明書はJF、KFシリーズ用のアクセサリー6種類の使い方を説明するものです。対応する6種類のアクセサリーは下記の通りです。

1) フライトラック （2個1組 / ACC-FTS）
2) 角度調整脚（2個1組/ACC-LGS)
3) カバープレート（2個1組/ACC-CPS）
4) U型ブラケット用調整プレート
5) S1・U型ブラケット（UBKT-S1）
6) S2・U型ブラケット（UBKT-S2）

1. フライトラック- ACC-FTS

このキットの内容物は下記の通りです。

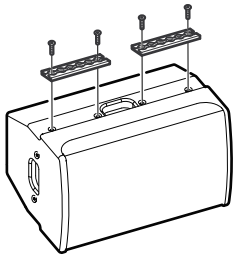
記号	数	品名
A	2	6ポジションフライトラック
B	4	M10ねじ
C	1	取扱説明書

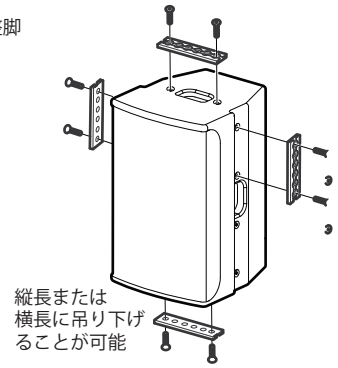


a. フライトラックを付ける位置から、工場出荷時に入っている六角ねじを2本とも外してください。

b. フライトラックとM10ねじ（図B）を取り付ける位置に合わせ、トルクレンチ（付属していません）などで締めます。トルクは82kg-cmにしてください。

スピーカーをリギングするとき、角度調整脚（次項参照）使用時の取付位置

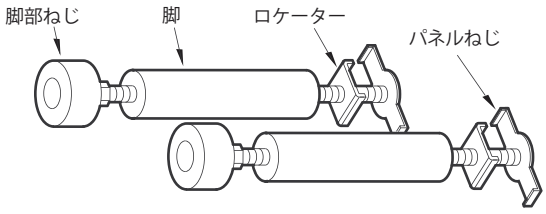




2. 角度調整脚- ACC-LGS

このキットの内容物は下記の通りです。

記号	数	品名
A	2	角度調整脚
B	1	取扱説明書

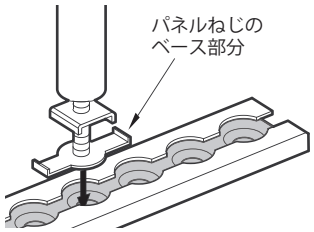


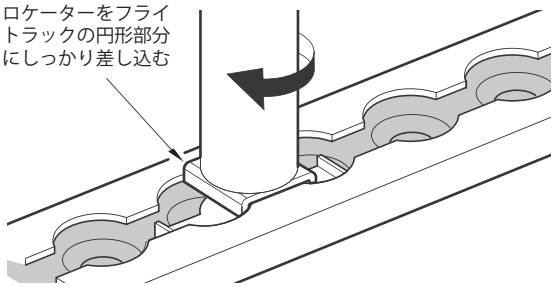
角度調整脚を取り付ける前に、フライトラックを取り付けてください。手順は前項をご参照ください。

a. ロケーターがパネルねじから5mmほど離れるまでパネルねじをゆるめてください。

b. パネルねじのベースをフライトラックの円形部分の1つにさしこみます。角度調整脚を動かして必要な角度にします。

c. ロケーターをフライトラックの円形部分に差し込みます。これで角度調整脚がフライトラックに正しく取り付けられます。

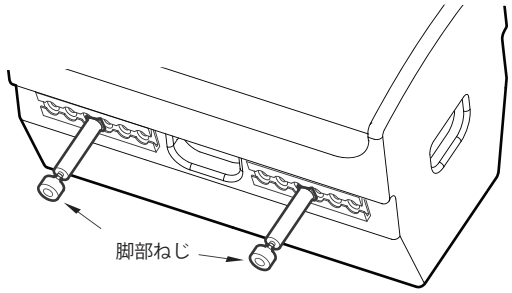




d. 脚を時計回りに回してフライトラックに固定します。

e. 手順aからdの通り2本目の脚をつけます。

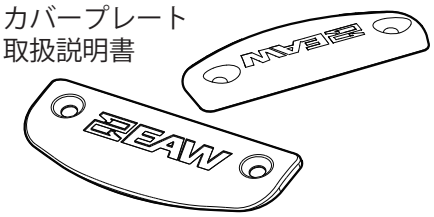
f. 脚部ねじを手で回して脚の長さを調整します。時計回りにすると短く、反時計回りにすると長くなります。



3. カバープレート- ACC-CPS

このキットの内容物は下記の通りです。

記号	数	品名
A	2	カバープレート
B	1	取扱説明書

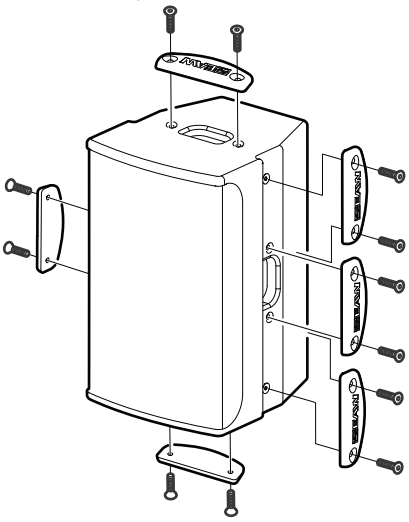


カバープレートはJF/KFシリーズの、いくつかの場所に取り付けることができます。

a. 隣り合うマウントスクリュー2つを外し、カバープレートを取り付けます。

b. ねじ回しでカバープレートを取り付けてください。

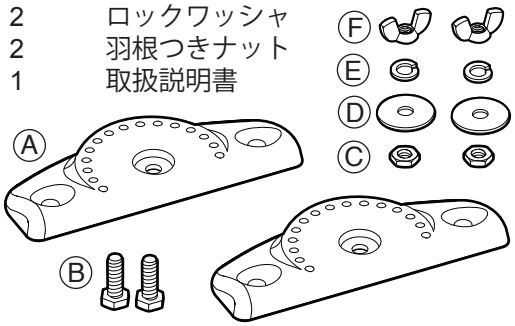
c. トルクは82kg-にしてください。



4. U型ブラケット用調整プレート- ACC-APS

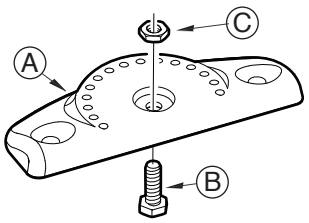
このキットの内容物は下記の通りです。

記号	数	品名
A	2	調整プレート
B	2	M10六角ねじ
C	2	六角ナット
D	2	平ワッシャ（大）
E	2	ロックワッシャ
F	2	羽根つきナット
G	1	取扱説明書



調整プレートは別売のU型ブラケットを使って、JF/KFシリーズを壁面、天井、トラスなどに横長あるいは縦長に取り付けるときに使います。

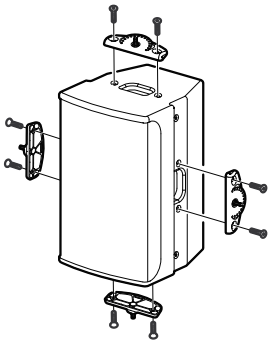
a. M10六角ねじ(B)を調整プレート(A)の下から差し込みます。ねじの頭をプレートの底部にあるへこみに合わせてください。



b. 六角ナット (C) をスクリューに取り付け、トルク82kg-cmで締めてください。

c. 手順aとbの通り、もう1つの調整プレートもご用意ください。

d. これで調整プレートをJF/KFシリーズに取り付ける準備ができました。設置する向きに合わせて、調整プレートを天面、底面、両側面の中央に取り付けてください。調整プレートをスピーカーに取り付けるときは、スピーカー本体の（ねじなど）部品をお使いください。トルクは82kg-cmにしてください。

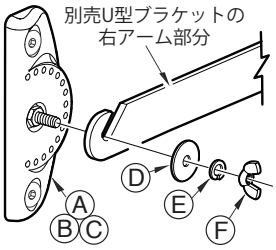


e. 別売のU型ブラケットを取り付けます。

警告！　スピーカーの設置作業は専門の技術者にご依頼ください。スピーカーを不適切に設置すると、機器に損傷を与えるだけではなく、周囲の人が死亡あるいは負傷する原因になります。

f. スピーカーのボディに取り付けられたM10六角ねじがU型ブラケットを取り付ける位置になります。

g. M10ねじに、付属のヒラワッシャ(D)、ロックワッシャ(E)、羽根つきナット(F)を取り付けます。スピーカーの角度を決めたら、羽根つきナットをしっかり締め付けてください。

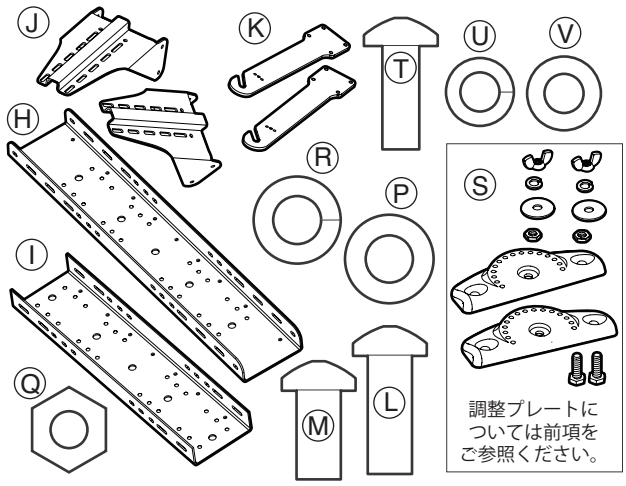


5. S1 U型ブラケット- UBKT-S1

警告！　U型ブラケットS1の使用荷重、垂直荷重はスピーカー1本分ですが、36.3kg未満です。

このキットの内容物は下記の通りです。

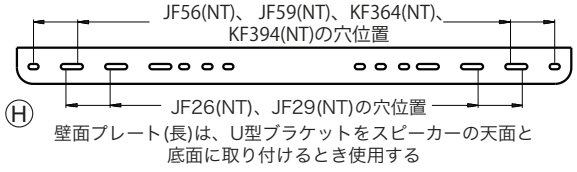
記号	数	品名
H	1	壁面プレート(長)
I	1	壁面プレート(中)
J	2	コネクターブラケット(大)
K	2	スピーカー支持プレート
L	8	M6×16ねじ
M	8	M6×2ねじ
P	16	M6平ワッシャ
Q	8	M6ロックナット
R	8	M6ロックワッシャ
S	1	調整プレート (ACC-APS)
T	2	M5ねじ
U	2	M5ロックワッシャ
V	2	M5平ワッシャ



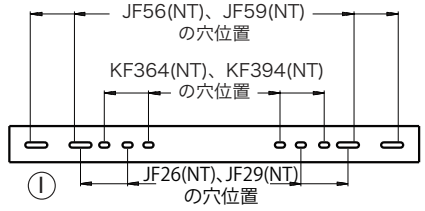
a. 前項で説明した手順通りに、調整プレートを2セット組み立ててください。

b. 2つの支持プレート(K)とコネクターブラケット(J)を、M6×12ねじ(M)4本とM6ロックワッシャ(R)、M6平ワッシャ(P)で取り付けます。右図をご参照ください。トルクは31kg-cmにしてください。

c. 支持プレート/コネクターブラケットを壁面プレート(HまたはI)に取り付けます。プレートは下図の通りスピーカーの向きによって選びます。M6×16ねじ(L)、M6平ワッシャ(P)、M6ロックナット(Q)で取り付けますが、このとき仮締めにしておき、プレート上でアッセンブリが動く状態にしておきます。



壁面プレート(長)は、U型ブラケットをスピーカーの天面と底面に取り付けるとき使用する



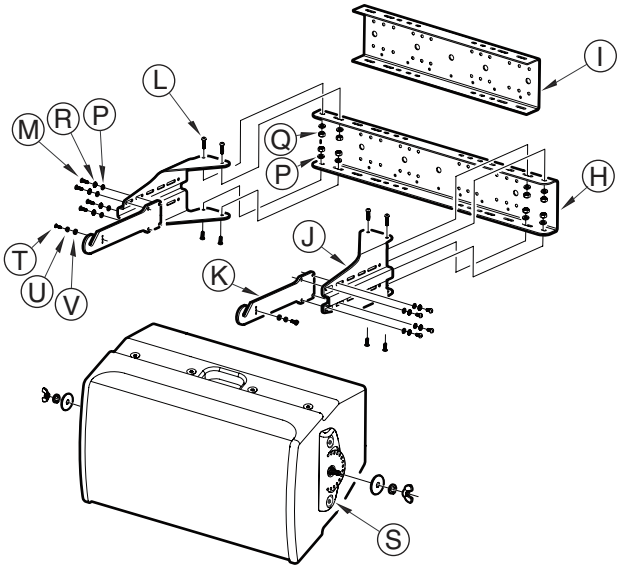
壁面プレート(中)は、U型ブラケットをスピーカーの両側面に取り付けるとき使用する

d. 部分的に組み上がったU型ブラケットを慎重にマウントします。

警告！　スピーカーの設置作業は専門の技術者にご依頼ください。スピーカーを不適切に設置すると、機器に損傷を与えるだけではなく、周囲の人が死亡あるいは負傷する原因になります。

e. 調整プレートのM10ねじをUがたブラケットのスロットの上からスピーカーの両面に取り付けます。

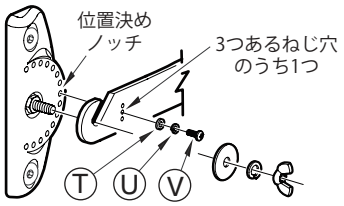
f. M10羽根付きナットを締めてください。



g. スピーカーを壁面プレート (HまたはI) の中央に置き、支持プレート/コネクターブラケットアッセンブリを固定しているM6ねじを壁面プレートにしっかり固定します。トルクは31kg-cmにします。

h. スピーカーの角度を調整できる程度に羽根つきナットをゆるめます。

i. スピーカーの角度を調整してM5ねじ(T)、M5ロックワッシャ(U)、M5平ワッシャ(V)を最も近いねじ穴と位置決めノッチに取り付けます。2つ目のM5ねじ、ロックワッシャ、平ワッシャを反対側にも取り付けます。両方のM5ねじを締めますが、このときトルクは23kg-cmにしてください。

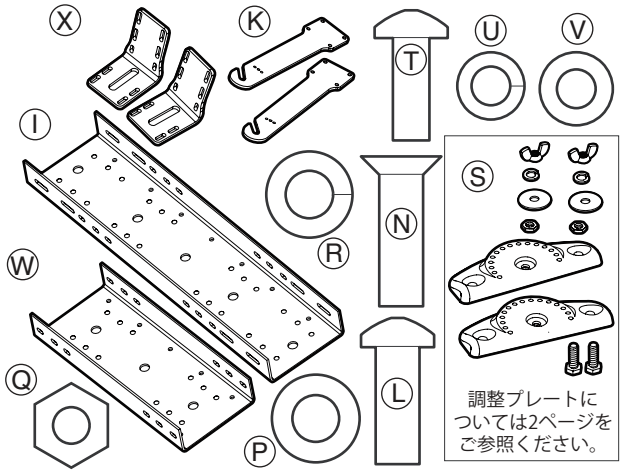


6. U型ブラケットS2 - UBKT-S2

警告！　U型ブラケットS2の使用荷重、垂直荷重はスピーカー1本分ですが、20.4kg未満です。

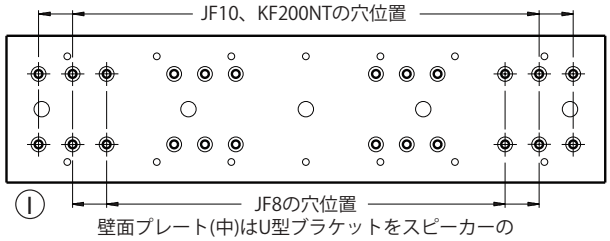
このキットの内容物は下記の通りです。

記号	数	品名
I	1	壁面プレート(中)
W	1	壁面プレート(短)
X	2	コネクターブラケット(小)
K	2	スピーカー支持プレート
L	8	M6×16ねじ
N	8	M6×20 皿ねじ
P	16	M6平ワッシャ
Q	8	M6ロックナット
R	8	M6ロックワッシャ
S	1	調整プレート (ACC-APS)
T	2	M5ねじ
U	2	M5ロックワッシャ
V	2	M5平ワッシャ

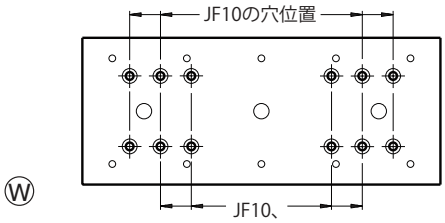


a. 前項で説明した手順通りに、調整プレートを2セット組み立ててください。

b. 2つの支持プレート(K)とコネクターブラケット(J)を、M6×16ねじ(L)4本とM6ロックワッシャ(R)、M6平ワッシャ(P)で取り付けます。右図をご参照ください。トルクは31kg-cmにしてください。



壁面プレート(中)はU型ブラケットをスピーカーの天面と底面に取り付けるとき使用する

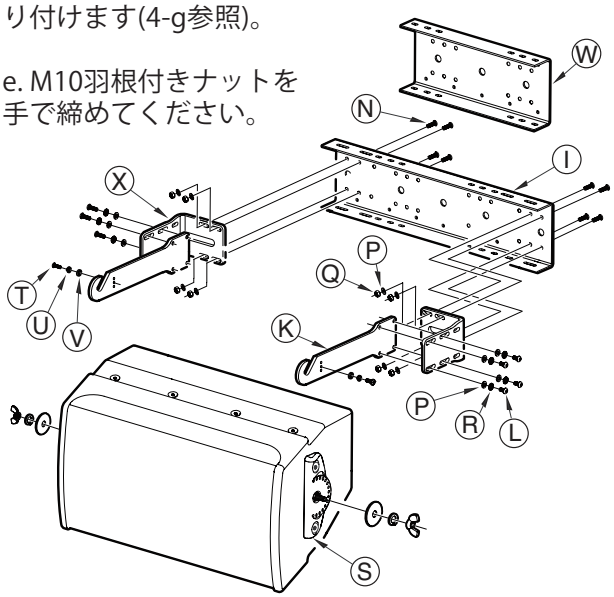


壁面プレート(小)はU型ブラケットをスピーカーの両側面に取り付けるとき使用する

c. 支持プレート/コネクターブラケットを壁面プレート(IまたはW)に取り付けます。プレートは下図の通りスピーカーの向きによって選びます。M6×20皿ねじ(N)8本、M6平ワッシャ(P)、M6ロックナット(Q)で取り付けますが、このとき仮締めにしておき、プレート上でアッセンブリが動く状態にしておきます。

d. M10ねじをスピーカー両側のU型ブラケットにあるスロットに通します。平ワッシャ、ロックワッシャ、羽根つきナットはブラケットの外側から取り付けます(4-g参照)。

e. M10羽根付きナットを手で締めてください。



f. スピーカーと両方の支持プレート/コネクターブラケットアッセンブリを、壁面プレートの中心を基準にして配置します。8本のM6ねじを31kg-cmのトルクで締めてください。

g. M10羽根付きナットをゆるめ、スピーカーをU型ブラケットから外してください。

h. U型ブラケットアッセンブリを取り付けてください。

警告！　スピーカーの設置作業は専門の技術者にご依頼ください。スピーカーを不適切に設置すると、機器に損傷を与えるだけではなく、周囲の人が死亡あるいは負傷する原因になります。

i. スピーカーをU型ブラケットに取り付けますが、このとき羽根付きナットはスピーカーの角度を自由にかえられる程度にしめてください。

k. スピーカーの角度を調整してM5ねじ(T)、M5ロックワッシャ(U)、M5平ワッシャ(V)を最も近いねじ穴と位置決めノッチに取り付けます。2つ目のM5ねじ、ロックワッシャ、平ワッシャを反対側にも取り付けます。両方のM5ねじを締めますが、このときトルクは23kg -cmにしてください。

l. 両側の羽根付きナットをしっかり締めてください。

保証

本機の保証はご購入後１年間となっております。

正常な使用状態で本体に不具合が生じた場合、正規のサービス担当者が無償で修理を行います。ただし、下記の場合は保証規定から除外されておりますので、あらかじめご了承ください。

- ●お客様による輸送、移動中の落下、衝撃など、お客様のお取り扱いが適正ではなかったために故障が生じた場合
- ●お客様のご使用上の誤り、不適正な改造、弊社の認可のない改造及び修理が行われている場合
- ●火災、煙害、ガス害、地震、落雷、風水害などの天変地異、あるいは異常電圧などの外部要因によって故障が生じた場合
- ●本機に接続している機器及び消耗品に起因する故障、損傷
- ●正常な状態でのご使用中でも、自然消耗、摩耗、劣化によって故障あるいは損傷が生じた場合
- ●日本国外でご使用中の故障、損傷

サービス・お問い合せ窓口

製品の設置、使用法など

東京　東京都千代田区麹町 2-5
☎ 03-3237-1201
FAX 03-3237-1205

大阪　大阪市北区東天満 2-10-24
☎ 06-6357-0160
FAX 06-6357-0170

福岡　福岡市南区大橋 4-16-18-201
☎ 092-554-6066
FAX 092-554-6064

営業時間　月曜日～金曜日　9:00 ～ 17:30
休業日　土曜日・日曜日・祝日・年末年始・夏期

ご質問は電子メールでも承ります。
Mail **info@otk.co.jp**

製品情報は下記の URL でもご紹介しています。
URL **www.otk.co.jp**

サービス・修理窓口

サービスセンター　東京都豊島区高田 1-17-22
中橋商事ビル新館 B1F
☎ 03-5950-0998
FAX 03-5950-0988
Mail repair@otk.co.jp

営業時間　月曜日～金曜日　9:00 ～ 17:30
休業日　土曜日・日曜日・祝日・年末年始・夏期